

講義名称	ソーシャルワーク論Ⅲ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）、社会福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210003
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214003

担当教員

氏名	所属
◎ 柴田 紀子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	ソーシャルワーク論Ⅲ・Ⅳを通して、ソーシャルワーカーとして多様化・複雑化する課題に対応するために、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法について講義を行う。 ソーシャルワーク論Ⅲでは、①人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、②ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ、③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について学ぶ。
到達目標	①人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解できる。 ②ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解できる。 ③ソーシャルワークの過程について理解できる。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	オリエンテーション		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	ソーシャルワーク論Ⅲのシラバスを読み、教科書に目を通して、授業の概要を把握する	30	
第2回	【授業計画】		
	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク（１）システム理論、生態学理論		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書p.1-15を読んで、システム理論、生態学理論の下調べをしておくこと	60	
第3回	【授業計画】		
	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク（２）バイオ・サイコ・ソーシャルモデル		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書p.16-27を読んで、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルの下調べをしておくこと	60	
第4回	【授業計画】		
	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク（３）ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書p.28-40を読んで、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの下調べをしておくこと	60	

第5回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの過程（1） ケースの発見とインターク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.41-56を読んで、ケースの発見とインタークの下調べをしておくこと	60
第6回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの過程（2） アセスメント、プランニング	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.58-92を読んで、アセスメント、プランニングの下調べをしておくこと	60
第7回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの過程（3） 支援の実施、モニタリング	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.93-104を読んで、支援の実施、モニタリングの下調べをしておくこと	60
第8回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの過程（4） 支援の終結と事後評価、アフターケア	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.105-118を読んで、支援の終結と事後評価、アフターケアの下調べをしておくこと	60
第9回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの展開過程 ケースの発見・インタークから終結・事後評価、アフターケアまでを振り返り総括	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第5回から8回の授業の内容を教科書、資料、ノートを用いて見直しておくこと	60
第10回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの実践モデル	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.119-128を読んで、ソーシャルワーク実践モデルの下調べをしておくこと	60
第11回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの実践アプローチ（1）心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.128-137を読んで、3つの実践アプローチの下調べをしておくこと	60
第12回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの実践アプローチ（2）課題中心アプローチ、行動変容アプローチ、認知アプローチ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.138-150を読んで、3つの実践アプローチの下調べをしておくこと	60
第13回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの実践アプローチ（3）危機介入アプローチ、エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.150-165を読んで、3つの実践アプローチの下調べをしておくこと	60
第14回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの実践アプローチ（4）解決志向アプローチ、さまざまなアプローチ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書p.150-165を読んで、5つの実践アプローチの下調べをしておくこと	60

第15回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第1回から14回の授業の内容を教科書、資料、ノートを用いて見直しておくこと	120

履修に必要な予備知識や技能	ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱで学習した内容を理解しておくこと。新聞・テレビ等の報道や文献を用いて、社会福祉制度の現状や現代社会の生活課題等について理解しておくこと。
課題に対してのフィードバック	授業内でふりかえりシートを課し、その記載内容について、次の授業でフィードバックする。
評価方法・基準	中間レポート10％、定期試験90％
教科書	『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』 中央法規出版
実務経験の内容・期間	なし